

令和7年度 宝塚山手台東自治会定例総会議事録

1. 開催日時 令和7年4月12日（土） 10時から 10時45分
2. 開催場所 宝塚山手台東自治会館
3. 実施方法 令和6年度本部役員及び令和7年度役員のみ会場開催とし、一般会員は議決権行使書/委任状による書面開催とする。
なお、SkypeによるWeb中継を実施し、視聴可能とした。
4. 総会員数 261世帯（令和7年4月12日現在）
5. 出席者総数 180世帯（有効な議決権行使書/委任状の提出を含む）
6. 議題
 - 第1号議案 令和6年度 事業報告
 - 第2号議案 令和6年度 会計報告
 - 第3号議案 令和6年度 監査報告
 - 第4号議案 令和7年度 宝塚山手台東自治会役員の選任
 - 第5号議案 令和7年度 事業計画（案）
 - 第6号議案 令和7年度 事業予算（案）意見交換

7. 議事の経過

令和7年度定例総会は、令和6年度定例総会と同様に会場参加者を令和6年度本部役員及び令和7年度新役員（本部役員候補、専門部役員候補、顧問、監査役）に制限し、一般会員は議決権行使書/委任状による書面決議を行い、賛否を集計して議案審議を行うこととした。

定刻、司会進行の池本浩史氏（令和6年度副会長）は開会を宣し、慣例により令和6年度会長の山口イワオ氏を議長に指名した。議長は、議決権行使書/委任状の集計結果について、4月12日現在の帯総会員数261世帯に対して180世帯から提出されていることを説明し、過半数の参加により本総会が適正に成立していることを報告した後に議事の審議を開始した。なお、議事録署名人は北村修一氏（令和6年度総務担当）並びに松浦昌美氏（令和6年度総務担当）が選任された。

8. 決議事項

第1号から第6号各議案の内容について概要が説明された後に審議の結果、各議案のいずれについても議決権行使書/委任状による賛否投票の集計結果は賛成が過半数を占め、賛成多数により全ての議案は承認可決された。

<各決議の賛否等の内容>

- 第1号議案 賛成 175 反対 0 委任 5
- 第2号議案 賛成 174 反対 0 委任 6
- 第3号議案 賛成 175 反対 0 委任 5

第4号議案 賛成 175 反対0 委任5

第5号議案 賛成 174 反対1 委任5

第6号議案 賛成 172 反対2 委任6

9. 報告事項

議決権行使書/委任状における意見（議案に反対投票された会員からの意見）及びそれらへの回答について

第6号議案について

意見①：令和6年度予算計画及び実績のうち、令和5年度の次期繰越金（令和6年度への繰越金）のウェイトが約40%を占めており、また令和7年度計画（案）においても同様で、実質活動費用は130万円から150万円程度であることから実態として異常に見える。このことは自治会館保全、修繕積立を目的としての現金預金金額と相関しているように思われ、積立をいくりにするのかという目標を明確にすることにより、事業計画（案）の予算のうち繰越金をいくりにするのかという議論が必要ではないか。安易に繰り越している印象が否めない。

回答：東自治会の繰越金の考え方として、これまでの活動経費の収入や支出の状況から、各年度の1年分の活動経費として約200万円程度を年度初めに確保しておくことを目標として繰越金を計上している。理由として、自治会会費の徴収が6月末期限になっていることから年度初めの活動資金の不足を防ぐためにもある程度繰越金が必要となる。しかしながら、昨今の会員減少による会費収入減少、自治会事業の縮小と軽減に伴い、執行される予算も減ってきている状況も鑑み、繰越金については次年度に向けて議論していきたいと考えている。

意見②：繰越金が増え過ぎで予算の半分以上になっており、結果、次期に繰り越している。その結果、財産が1千万円以上になっているのは適正なのか。

回答：自治会館の保全や修理等の維持管理費として1千万円の予算確保を目標としてこれまで引き継がれている。しかしながら、3年前から予算科目に自治会館の修理費として自治会館修繕積立金を設けた。もし、単年度で40万円以下の修理ならここから支出して処理することとし、修繕積立金からは支出しないことにしている。

第2号議案の財産目録をご覧くださいと通り、修繕積立金は間もなく1千万円（令和6年度末時点で968万円）に達することから、この件についても役員会で早々に議論していきたいと考えている。

意見③：会館使用料、歳末助け合い助成金を目論みすぎではないか

回答：会館使用料はこれまで自治会の大きな収入源であったことから、予算的にはこれまでの経緯も踏まえて高く設定されている。しかしながら、昨今の会館使用に伴う破損や傷み、汚れ等も増える結果、修理費等も増加している。したがって、会館使用を積極的に促進するのではなく、これからも長く使っていただけるよう会館使用に関して自治会員に制限するなど検討も必要と思われる。この件についてもご意見の通り、来年度に向けて議論していきたいと考えている。

10. 閉会

以上、全ての議事が10時45分に終了し、司会進行の池本浩史氏は会場出席者、ネットでの閲覧者に対して謝辞を述べ、閉会を宣した。

この議事が正確であることを証するため、議長並びに議事録署名人が次の通り署名する。

令和7年4月12日

令和7年度 宝塚山手台東自治会定例総会

議長

山口 イワ

議事録署名人

北 村 修一

松浦 昌美